連絡責任医師 各位 移 植 医 師 各位 登 録 医 師 各位

公益財団法人 日本骨髄バンク事務局

HLA 適合検索結果報告書における、ドナーの検索順位について ~同ローカス (座) 内の1アリルミスマッチドナーと2アリルミスマッチドナーの順位~

現在の適合検索ではアリル個別の評価ではなく、ローカス(座)毎に評価しております。これは、現行システムの導入当時にアリル不一致個数と移植成績への影響についてのエビデンスがなかったためです。

したがって、同じローカス内のアリルが1つ不一致でも2つ不一致でも、順位は変わりません。※ただし、血液型、体重等、HLA以外の評価項目により、上下します。

《例》

	HLA-A		HLA-B		HLA-C		HLA-DR	
患者	11:01	31:01	15:01	51:01	04:01	14:02	04:05	08:02
ドナー1	11:01	31:01	15:01	51:01	04:01	14:02	04:06	08:02
ドナー2	11:01	31:01	15:01	51:01	04:01	14:02	04:05	08:03
ドナー3	11:Ö1	31:01	15:01	51:01	04:01	14:02	04:06	08:03
ドナー4	11:01	31:01	15:01	51:01	04:01	14:02	04:06	08:02
ドナー5	11:01	31:01	15:01	51:01	04:01	14:02	04:05	08:03

上の例では、ドナー3 (HLA-DR アリル 2 ミスマッチ) もドナー1、2、4、5 (HLA-DR アリル 1 ミスマッチ) も同じ順位のため混在しますので、ドナー選択の際にはご承知おきくださいますようお願いいたします。

なお、次期検索システムでは、アリル適合を個別に評価する予定です。その場合、上記例では、ドナー3はドナー1、2、4、5より下位になります。

■関連情報

理由は異なりますが、アリルフルマッチドナーとアリルミスマッチドナーが混在するケースが他にもあります。詳細は裏面をご覧ください。

<問合せ先> 公益財団法人 日本骨髄バンク 移植調整部

TEL: 03-5280-4771 FAX: 03-5280-3856 E-mail アドレス: jmdpishoku@jmdp.or.jp

アリルマッチドナーよりも先にアリルミスマッチドナーが検索されるケースについて

HLA を評価するしくみから、アリルフルマッチドナーがミスマッチドナーよりも順位が下がる場合があります。 HLA 照合サービスをご覧いただくと、全体のドナー状況がわかりますので是非ご活用ください。

蛍光ビーズ法で得られた NMDP コード(※注)の中身(複数のアリル)を評価しているため、稀に、ドナーの高頻度アリルと患者のアリルがミスマッチでも加点されて上位に検索されることがあります。

≪例≫

	Н	HLA-A		HLA-B		HLA-C		HLA-DR	
患者	24:02		40:02		12:02		09:01		
			52:01		15:02		15:02		
	高頻度	NMDP	高頻度	NMDP	高頻度	NMDP	高頻度	NMDP	
	アリル	コード	アリル	コード	アリル	コード・	アリル	コード	
トナー 1	24:02	24:ЈРКС	40:06	40:JTVG	12:02	12:JJMD	09:01	09:CAG	
-		24:JPJC	52:01	52:JSGU	15:02	15:JJNZ	15:02	15:JMFJ	
トナー 2	24:02	24:ЈРКС	40:06	40:JTVG	12:02	12:JJMD	09:01	09:CAG	
		24:JPJC	52:01	52:JSGU	15:02	15:JJNZ	15:02	15:JMFJ	
トナー3	24:02	24:JPKC	40:06	40:JTVG	12:02	12:JJMD	09:01	09:CAG	
		24:JPJC	52:01	52:JSGU	15:02	15:JJNZ	15:02	15:JMFJ	
トナー4	24:02	24:EDMS	40:02	40:EFJT	12:02	12:AFB	09:01	09:MP	
		24:EDMT	52:01	52:EFUM	15:02	15:JJNZ	15:02	15:EENC	
トナー 5	24:02	24:JPKC	40:06	40:JTVG	12:02	12:JJMD	09:01	09:CAG	
		24:JPJC	52:01	52:JSGU	15:02	15:JJNZ	15:02	15:JMFJ	
ドナー 6	24:02	24:ЈРКС	40:06	40:JTVG	12:02	12:JJMD	09:01	09:CAG	
	·	24:JPJC	52:01	52:JSGU	15:02	15:JJNZ	15:02	15:JMFJ	
トナー 7	24:02	24:EDMS	40:02	40:EFJT	12:02	12:AFB	09:01	09:MP	
		24:EDMT	52:01	52:EFUM	15:02	15:JJNZ	15:02	15:EENC	

この例では、ドナーの高頻度アリルが患者とミスマッチのドナー1~3、5、6 が、高頻度アリルマッチのドナー4、7 よりも上位に検索されています。

ドナー1~3、5、6の HLA-B*40:JTVG (NMDP コード)には、可能性のあるアリルとして以下が要素に含まれます。 40:02/40:06/40:103/40:11/40:127/40:131/40:143/40:70/40:83

NMDP コードに含まれるアリル中に患者とマッチする 40:02 があれば、高頻度アリルが何であってもコードマッチとして同じ加点がされます。このためドナー1~7はいずれも同点となり、必ずしも高頻度アリルがマッチしたドナーが上位に検索されるとは限りません。

B*40:02とB*40:06の他に、A*26:01とA*26:03 やB*15:01とB*15:07などでも、同様の状況がみられる場合があります。

(※注) 蛍光ビーズ法(PCR-rSSO 法)では、多くの場合アリルデータを 1 つに特定することはできませんが、検査結果は NMDP コードで表記し、可能性が高いアリル(高頻度アリル)を絞り込むことが可能です。

NMDP コード	NMDP コードの内容 (可能性があるアリル)	高頻度アリル
例 1) DRB1*01:EW	DRB1*01:01/05/07/08/11	01:01
例 2) DRB1*15:GEP	DRB1*15:01/06/13	15:01

※「患者コーディネートの進め方~患者コーディネート担当医師用説明書~」P. 23~25 をご参照ください。